

第5回男女共同参画シンポジウム & 女性研究者奨励賞表彰式を行いました！

3月16日、「第5回宮崎大学男女共同参画シンポジウム」を開催しました。同シンポジウムは、本学が取り組む男女共同参画推進事業の一環として毎年開催しているものです。今回は、基調講演として、文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室の和田勝行室長にご登壇いただき、我が国における女性研究者の動向やそれを踏まえた文部科学省の最新施策についてご講演いただきました。

シンポジウム後半では、伊達 紫 副学長の進行により、各部局長からの現状・課題の報告と意見交換が行われました。第1回目のシンポジウムから毎年恒例となっている部局長報告ですが、各部局の取り組みが年々発展していることが伺える内容となっていました。

本シンポジウムでは、女性研究者奨励賞の表彰式も行いました。今年度は農学部畜産草地科学科に所属する井戸田幸子准教授が表彰の対象として選出されました。表彰式では、菅沼学長が賞状と目録を授与し、「海外のフィールドも含めた長年の研究が評価されたもの。今後も女性研究者のロールモデルとして活躍してほしい」と激励の言葉も寄せられました。

表彰式の後は、井戸田准教授により「飼料畑におけるメタン発酵消化液の有効利用に関する研究」など表彰の対象となった研究成果について発表が行われました。



前列左より) 菅沼学長、井戸田准教授、伊達副学長
後列左より) 増田理事、原田理事、岩本理事、土山企画総務部長

平成27年3月30日 第77号 / 発行 清花アテナ男女共同参画推進室

アテナかわらばん

女性職員を対象とした研修を開催しました

平成27年3月10日、木花キャンパスにおいて「職員向け男女共同参画研修」を開催しました。本研修は「宮崎大学男女共同参画基本計画」の方針に基づき、本学女性事務職員を対象に実施したもので、各部局の推薦を受けた主任・係長級の職員17名が参加しました。



講師として株式会社ダイバーシティオフィス KITAO の北尾真理子さんをお招きし、「キャリアについて～私らしく日々輝きながら働き続けるために」というタイトルで、グループワークも交えてお話をいただきました。

女性事務職員を対象とした研修開催は初の試みでしたが、参加者からは「目的を設定することの重要性を改めて感じた」「講師の話を聞いて気持ちが少し楽になった」といった感想が寄せられました。

Keyword : 「イクボス」ってなんだろう？

皆さんは「イクボス」という言葉を聞いたことがありますか？「イクボス」とは、「職場でともに働く部下・スタッフの仕事と家庭の両立を考え、その人のキャリアと人生を応援する上司（経営者・管理職、男女とも）」のこと。それだけでなく、「組織の業績・結果もきちんと出し、自らも仕事と生活を楽しむことができる」というところがポイントなのだとか。平成25年に群馬県庁で開催された「イクボス養成塾」がキーワード誕生のきっかけですが、現在は様々な企業・行政等でも講座等が開催されるようになり、平成26年度に発行された「男女共同参画白書」にもコラムとして話題が掲載されました。皆さん（&皆さんの周囲の方）の「イクボス度」はどうですか？

女子高校生のためのサイエンス体験講座 無事終了しました！

清花アテナ男女共同参画推進室では、次世代育成事業の一環として「女子高校生のためのサイエンス体験講座 in 宮崎大学」を開催しています。県内高校に通う1・2年生を対象に開催してきた本企画も今年で6回目。昨年度までの開催で約700名が参加しました。

今年は、3月4日・5日の2日間で開催し、約60名の高校生が8つのプログラムに参加しました。はじめのうちは緊張した面持ちの参加者も、他校からの参加者と一緒に実験したりするうちに笑顔も見られ、高校では体験できない研究室での実験に興味津々でした。

また、3月5日には応募者多数のためプログラムに参加できなかった希望者のための「宮大体験ツアー」も開催し、20名が参加しました。工学部の乱流風洞実験施設（国内でも類を見ない規模の施設なのだそうです）の見学をはじめ、みやだいCOCフーズサイエンスラボラトリー等での見学・実験、本学学生とのランチ交流会、大学女性研究者によるトークセッションと盛り沢山の内容でした。

プログラムや体験ツアーに参加した高校生からは、「科学に対する関心がもっと湧いてきました」「自分が興味を持っている学部以外も話を聞いて知ることができ、興味の幅が広がりました」「大学受験に向けて、これからの勉強を頑張る大学に絶対合格したいと思えるようになった」などの感想が寄せられました。

年度末のお忙しい中、プログラム等でご協力くださった先生方、学生の皆さん、本当にありがとうございました。

協力してくださった皆さん（敬称略）

3月4日【木花キャンパス】

プログラム名	学部	担当教員	定員
草木染を科学しよう	工学部	大塚 薫	12
植物の化石で農業や環境の歴史を科学しよう	農学部	宇田津 徹朗	4
電子顕微鏡でミクロの世界を見てみよう	工学部	黒木 正子	5
PCR技術を使って微生物の遺伝子多様性を探ってみよう	農学部	佐伯 雄一	4
リケジョと一緒にマリンバイオテクノロジーの魅力に迫る	農学部	田岡 洋介	10

3月5日【清武キャンパス】

プログラム名	学部	担当教員	定員
新しいペプチドの発見を目指して	フロンティア	井田 隆徳	4
寄生虫研究の最前線～研究者は大学で何をやっているのか？	医学部	丸山 治彦 菊地 泰生	5
“くすり”はなぜ効くの？	医学部	武谷 立	12

3月5日【宮大体験ツアー】

<施設等見学> 小園 茂平（工学部）、山崎 有美（COC推進室）、剣持 直哉（フロンティア）、伊達 紫（フロンティア）、本多 新（TT推進機構）

<トークセッション> 児玉 由紀（医学部附属病院）、前田 幸重（工学部）、稲葉 靖子（TT推進機構）

<交流会> 『「私」のキャリアとライフデザイン』受講学生

右「草木染を科学しよう」の様子

下「植物の化石で農業や環境の歴史を科学しよう」の様子



右「宮大体験ツアー」女性教員によるトークセッションの様子



◇あてなのらくがき◇このコーナーでは推進室で起こった出来事や話題を少しだけご紹介しませ

あつという間に年度末…今年度も本当に多くの方からご支援・ご協力を頂き12ヶ月を乗り越えることができました。見直さなくてはならない部分・改善すべき部分は多々ありますが、少しでも多くの方と直接向き合いながら、取り組みを積み重ねていくという気持ちは大切にしていきたいと思えます！次年度もよろしくお祈りしますm(__)m

宮大ハッピースローガン

隣の人の気持ち、考えてみませんか？「ありがとう」の気持ち、言葉にしてみませんか？

忙しい毎日でも、ほんの少しだけ相手を思いやる気持ちを持つだけで、ぐんと快適になります